

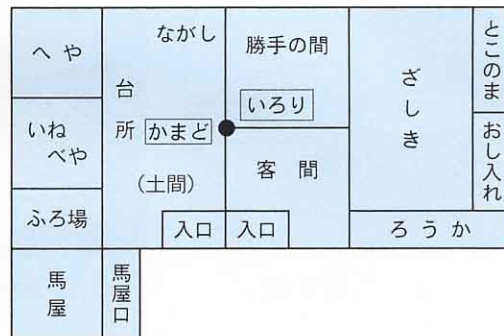
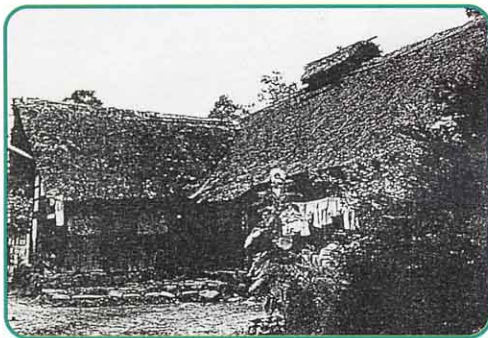
VI かわってきた人びとのくらし

1 どうぐからむかしをしらべる

(1) むかしの家

〈おじいさん、おばあさんが子どものころの家〉

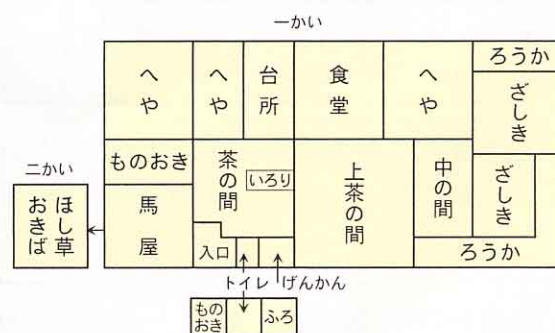
(やく70~60年前)



むかしはかやぶきやわらぶきの^{やね}屋根の家が多く、水道^{すいどう}もありませんでした。仕事場^{しごとば}をかねた土間^{どま}や田や畑をたがやしてくれる馬の小屋^{こや}もいっしょにありました。

〈お父さん、お母さんが子どものころの家〉

(やく40~30年前)



お父さんのころには、屋根はトタン板^{いた}になり、水道もそれぞれの家^{やね}にあり、えいせい^{だいどころ}てきになってきました。台所でも石油コンロやガス^{せきゆ}